

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール					
No.	651	配信日	2026/1/15	ジャンル	商品知識
テーマ	世界のブランドルーツ③ -スペイン編-				

スペインはフランスと比較するとハイブランドの印象が薄い国ですが、実は革製品・職人文化・実用性という観点では中古市場と非常に相性の良い国です。今回は、「なぜスペインブランドは長く使われるのか」という視点で説明していきます。

1. スペインという国のものづくり文化

スペインは歴史的に

- ・ 牧畜・皮革産業が盛ん
 - ・ 王室文化と職人制度が共存
 - ・ 観光・実用を重視する国民性
- という背景があります。

そのためスペインブランドの多くは、

- ・ 見た目より耐久性
- ・ 流行より使いやすさ
- ・ 装飾より素材

を重視して作られています。

ここがフランス・イタリアとの大きな違い。



2. 代表的なスペイン発祥ブランドと役割

◆ LOEWE (ロエベ)

- ・ 創業：1846 年
- ・ ルーツ：マドリードの革職人組合
- ・ 現在：**LVMH 傘下のラグジュアリーブランド**

ロエベはスペインを代表するハイブランドであり、「デザインブランド」ではなくレザーの質で評価されるブランドです。

◆ BALENCIAGA (バレンシアガ)

- ・ 創業：1917 年
- ・ 創業者：クリストバル・バレンシアガ
- ・ 本拠地はパリだが、創業者はスペイン人

バレンシアガは、**スペイン人デザイナーがフランス・オートクチュールを支配した稀有な例**。構築的なシルエットや「当時は理解されなかったデザイン」は、スペインらしい尖りが源流です。

3. スペインブランドが中古市場での評価

スペイン発祥ブランドは、派手さはないが、評価が落ちにくい傾向があります。

理由は

- ・ レザーの質が高く経年劣化が緩やか
- ・ 流行に寄せすぎないデザイン
- ・ 修理・メンテナンスがしやすい構造

流行や知名度で評価されるのではなく、**素材・使われ方・耐久性**で価値が左右されます。

国の文化や背景を理解したうえで商談に臨むことで、単なる査定ではなく

「なぜこの評価になるのか」をお客様に自然に伝えることができます。

ぜひ今回の内容を踏まえ、ブランドの国ごとの違いを意識しながら、一段深い商談を心がけていきましょう。